

政策シート

(政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築
 (予算費目名) ごみ減量推進費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

○ごみ減量教育推進事業
 生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行う。

○生ごみ減量推進事業
 たい肥化容器の無料配布、家庭用生ごみ処理機購入費補助金の交付等により、生ごみの減量を推進する。

○資源物集団回収団体活動促進事業
 古紙類・古着類等の資源物を自主的に回収する活動に対する資源物集団回収協力金の交付等を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	489,405	360,401	152,092
決算	465,746	333,618	
人件費(A)	107,100	103,700	96,700
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	572,846	437,318	248,792

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
1人1日あたりのごみ排出量	g	851	目標	886	879	872
			実績	901	891	
リサイクル率	%	30.1	目標	21.4	21.5	22.5
			実績	19.6	19	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

○ごみ減量教育推進事業
 生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行う。

○リサイクル拠点運営事業
 リサイクルステーション事業のほか、市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○ごみ減量教育推進事業
 自治会を対象とした ごみ減量・3R説明会を37回開催した。
 「やらまいか水切りプレス」を小学4・5年生やごみ減量・3R説明会参加者に対して約19,700個配布した。

○リサイクル拠点運営事業
 リサイクルステーションは11箇所、使用済小型家電は55箇所、廃食用油は71箇所、古紙類・古着類は、16箇所回収を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ減量・リサイクル推進事業	○	○	○		184,037	144,417	5.3			0.9
2	ごみ減量推進運営経費					64,755	7,675	7.6	1.0		0.1
3	一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金				○						
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						248,792	152,092	12.9	1.0		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ減量・リサイクル推進事業

◇事業目的・事業対象

市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.62】

○生ごみ減量推進事業

たい肥化容器の無料配布、家庭用生ごみ処理機購入費補助金の交付等により、生ごみの減量を推進する。

○資源物集団回収団体活動促進事業

古紙類・古着類等の資源物を自主的に回収する活動に対する資源物集団回収協力金の交付等を行う。

○みどりのリサイクル推進事業

○環境美化活動推進事業

地域の環境美化活動を支援するため、協力金を交付するとともに環境美化推進員会議・研修会を開催する。

○ごみ減量教育推進事業

生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行うとともに、本市のごみ減量施策の効果検証のため排出ごみ質分析事業を行う。

○その他

市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S55	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	181,064	150,108	144,417
	決算	158,449	124,026	
	国・県支出			
	市債			
	その他	3,515	90,586	71,000
	一般財源	154,934	33,440	73,417
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		36,400	35,700	39,620
人工	正規	4.8	4.7	5.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	1.0	1.0	0.9

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ごみの総排出量(t)				-		62
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	258,338	254,805	252,070	249,678	248,724	239,643
実績値	263,241	259,205				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
1人1日あたりのごみ排出量(g)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	886	879	872	866	863	851
実績値	901	891				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
リサイクル率(%)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	21.4	21.5	22.5	23.6	24.6	30.1
実績値	19.6	19				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.62】

- 生ごみ減量推進事業
たい肥化容器の無料配布、家庭用生ごみ処理機購入費補助金の交付等により、生ごみの減量を推進する。
- 資源物集団回収団体活動促進事業
古紙類・古着類等の資源物を自主的に回収する活動に対する資源物集団回収協力金の交付等を行う。
- リサイクル拠点運営事業
リサイクルステーション事業のほか、市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。
- みどりのリサイクル推進事業
- 環境美化活動推進事業
地域の環境美化活動を支援するため、協力金を交付するとともに環境美化推進員会議・研修会を開催する。
- ごみ減量教育推進事業
生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行うとともに、本市のごみ減量施策の効果検証のため排出ごみ質分析事業を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【実施事業】
 たい肥化容器の無料配付は1,515世帯に配布済み。家庭用生ごみ処理機購入費補助金は109世帯に1,572千円を交付した。
 資源物集団回収協力金の交付等を行った。また、自治会を対象に資源物集団回収保管庫を無償貸与した。
 リサイクルステーションは11箇所、使用済小型家電は55箇所、廃食用油は71箇所で開催を行った。また、区役所、清掃・境事業所等16箇所古紙類・古着類の回収を行った。みどりのリサイクルを6箇所で開催した。
 環境美化推進員会議を区ごとに8回開催するとともに、環境美化推進員向けの研修会を2回行った。
 ごみ減量・3R説明会を37回開催した。
 「やらまいか水切りプレス」を小学4・5年生やごみ減量・3R説明会参加者等に対して約20,000個を配布した。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

市内8箇所で開催しているみどりのリサイクルについて設置場所等を検討し、6箇所に減らした。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

平成17年度から、スーパーや協働センターなど市内11箇所毎月1回リサイクルステーションを設けてきたが、民間事業者による古紙等の回収拠点の設置が活発となったことから、平成29年3月をもって市によるリサイクルステーションを終了する。
 もえるごみの多くを占めている「生ごみ」と「紙類」の減量のため、新規、臨時事業の啓発の充実を図る。

補助シート (事業名) ごみ減量・リサイクル推進事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
62	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施

行財政改革の取り組み (事業名) ごみ減量・リサイクル推進事業

◇取組概要

市民との協働により家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。
 ごみ減量・資源化・適正処理を推進し、新清掃建設計画の際に更新施設から規模を縮小し、建設コスト・運営コストの削減を目指す。

◇行財政改革の視点 3 ファシリティマネジメントの推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____
 取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 一般廃棄物処理基本計画(環境審議会へ進捗状況の報告)

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	ごみの総排出量(t/年)	計画値	258338	254805	252070	249678 (H30)249678
		実績値	263241	259205		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶
 【平成28年度】
 計画値の目標は概ね計画通りの見込み。今後も市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進していく。

事業シート (事業名) ごみ減量推進運営経費

◇事業目的・事業対象

・循環型社会形成のための推進計画や一般廃棄物処理に関する処理計画及び許可事務等を通して全体的な調整を行う。
 ・ごみ減量推進費の業務を円滑に運営する。

◇事業の概要

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
 ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務、研修会の開催等を行う。
 ・事業系一般廃棄物の適正処理について、市内事業者にチラシにより周知することで、事業系一般廃棄物の適正処理を徹底し、ごみの減量を見込む。
 ・再生利用可能な事業系古紙が清掃工場に搬入しないようにする施策を計画する。
 ・災害廃棄物処理計画に係る事務を行う。
 ・全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会、廃棄物研究財団等との連絡調整を行う。
 ・浜松市清掃公社との総合調整を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	8,341	10,293	7,675
	決算	7,297	9,592	
	国・県支出			
	市債			
	その他	490	160	490
	一般財源	6,807	9,432	7,185
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		70,700	68,000	57,080
人工	正規	10.1	9.2	7.6
	再任用(h31)		1.0	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。
- ・災害廃棄物処理計画の策定に係る事務を行う。
- ・全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会、廃棄物研究財団等との連絡調整を行う。
- ・浜松市清掃公社との総合調整を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- 一般廃棄物処理業許可事務 更新許可:16件、一般廃棄物再生利用業指定事務 延長指定:4件
- 事業系一般廃棄物減量施策の実施
大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。
計画書提出数316件、立入件数:120件
- 全国都市清掃会議総会を浜松市で開催した。(5月18～20日)
- 災害廃棄物処理計画の策定

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・浜松市で全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会を開催した。
- ・災害廃棄物処理計画を策定した。
- ・浜松市清掃公社との総合調整を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業系一般廃棄物減量施策について、平成29年度に中小事業者向け事業系廃棄物の適正処理・減量のチラシ配布と大規模建築物所有事業者向け研修会の開催を実施する。
- ・「災害廃棄物処理計画」については、国、県の動向やその他情報を収集し、沿岸域防潮堤完成後の津波による災害廃棄物廃棄物量の見直し等関係部署と検討を行いながら、見直しをする。

平成29年度

(管理番号)
04 01 03 01 001505000 02

(担当課)
ごみ減量推進課

(責任者)
石田 義和

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) ごみ減量推進運営経費

◇取組概要

(一財)浜松市清掃公社の業務や経営について関与する。公益法人制度改革に伴い、平成24年4月に清掃公社は一般財団法人に移行し、平成26年末時点で清掃公社職員の給与は市職員に準じたものとなった。

◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 4001-8

取組事項名 (一財)浜松市清掃公社の経営健全化

個別計画等 計画名等 外郭団体コミットメント

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金 【完了】

◇事業目的・事業対象

公益法人制度改革に伴い、一般財団法人浜松市清掃公社が、公益目的支出計画に基づき、平成24年度から5年間で12億円を市へ寄附し、平成28年度で市への寄附は完了した。
 市は受け入れた寄附金について、一般廃棄物処理施設の整備費用等に活用する目的で基金へ積み立てを行った。

◇事業の概要

・寄附金について、平成24年度から5年間で12億円を受け入れ、一般廃棄物処理施設整備事業基金へ積み立てを行った。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H24	H28	一般会計	自治事務(その他)	浜松市一般廃棄物処理施設整備事業基金に関する条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	300,000	200,000	
	決算	300,000	200,000	
	国・県支出			
	市債			
	その他	300,000	200,000	
一般財源				
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
寄付金額(千円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	300,000	200,000				
実績値	300,000	200,000				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・寄附金について、平成29年3月に平成28年度分として2億円を受け入れ、一般廃棄物処理施設整備事業基金へ積み立てを行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

寄附金について、平成29年3月に平成28年度分として2億円を受け入れ、一般廃棄物処理施設整備事業基金へ積み立てを行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

公益法人制度改革に伴い、一般財団法人浜松市清掃公社が、公益目的支出計画に基づき、平成24年度から5年間で12億円を市へ寄附し、平成28年度で市への寄附は完了した。

政策シート

(政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 南清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
 ・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	214,727	232,827	268,851
決算	212,287	228,641	
人件費(A)	97,500	194,900	193,100
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	309,787	423,541	461,951

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール 実施率	%	-	目標	95	100	100
			実績	100	100	
みどりのリサイクル受入件数	件	-	目標	3,000	3,500	7,000
			実績	7,632	7,486	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
 ・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日実施するとともに、自治会等とも連携して環境美化活動に努めたことにより、地域の住環境を維持することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業					461,951	268,851	22.9	6.0		4.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						461,951	268,851	22.9	6.0		4.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全、衛生的に収集運搬を行う。

◇事業の概要

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(南区)
- ・連絡ごみ、小型家電回収の収集運搬(中区、南区)
- ・家庭から出た剪定枝等の回収「みどりのリサイクル」事業
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和39年度	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	214,727	232,827	268,851
	決算	212,287	228,641	
	国・県支出			
	市債			
	その他	148,926	90,500	
	一般財源	63,361	138,141	268,851
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		97,500	194,900	193,100
人工	正規	11.7	23.9	22.9
	再任用(h31)	2.0	3.0	6.0
	再任用(h26)			
	非常勤	3.0	6.0	4.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール稼働率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	95	100	100			-
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
みどりのリサイクル受入件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,000	3,500	7,000			
実績値	7,632	7,486				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(南区)
- ・連絡ごみ、小型家電回収の収集運搬(中区、南区)
- ・家庭から出た剪定枝等の回収「みどりのリサイクル」事業
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・南区の家庭から排出されたごみ・資源物を適正な処理を行った。
- ・中区、南区の連絡ごみ、小型家電の回収を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日行い、住環境の環境美化に努めた。
- ・ごみ集積所の適正管理を行った。
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・みどりのリサイクル事業について、平成28年10月から日曜日の市内搬入場所を南清掃事業所に集約したことから、持ち込み件数が増加したが、部内の協力体制により混乱なく適正に処理することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、ごみ分別の啓発、指導や不法投棄、不当排出パトロールを行うとともに、環境美化活動団体等との連携を図り、衛生的な地域環境を維持していくための環境美化活動を推進する。
- ・祝日等における連絡ごみの収集について、実施方法等の検討を行う。

政策シート (政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 平和清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
 ○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	533,314	535,995	621,823
決算	532,538	533,959	
人件費(A)	134,040	108,600	108,600
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	666,578	642,559	730,423

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
不法投棄、不当排出廃棄物パトロール実施率	%	100	目標	91	92	93
			実績	92	93	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
 ○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	ごみ収集事業					639,300	532,500	15.0	0.5			
2	資源物処理事業					91,123	89,323		0.5			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						730,423	621,823	15.0	1.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを衛生的に収集運搬することにより市民生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

○家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。

対象区域: 西区、北区

○不法投棄ごみや自治会等が行う環境美化活動に伴う収集ごみの早期回収により地域と連携して環境美化に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	446,626	449,320	532,500
	決算	445,851	447,284	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	445,851	447,284	532,500
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		133,060	106,800	106,800
人工	正規	17.5	15.0	15.0
	再任用(h31)	0.6	0.5	0.5
	再任用(h26)			
	非常勤	3.0		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
不法投棄、不当排出廃棄物パトロール実施率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	91	92	93	94	95	100
実績値	92	93				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。

対象区域:西区、北区

○不法投棄ごみや自治会等が行う環境美化活動に伴う収集ごみの早期回収により地域と連携して環境美化に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・全業務日256日中、不法投棄220日(86%)、不当排出256日(100%)、平均93%と、目標値92%を超えるパトロールを実施することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・収集業務の見直しにより正規職員及び非常勤職員を削減した。
・委託業者に対する指導徹底により適正な業務を遂行することができ、市民サービスの向上に繋がった。
・自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

みどりのリサイクルや地域の環境美化活動などに伴う収集運搬業務が増加する一方で、逆に職員数は年々減少することから、事業の質を維持する見直しが必要である。

事業シート (事業名) 資源物処理事業

◇事業目的・事業対象

○ペットボトル、プラスチック製容器包装及びびん類の中間処理(圧縮、選別、異物除去等)を行い、資源物の適正活用を図る。
 ○容器包装廃棄物の排出を抑制し、ごみ処理による環境への負荷を軽減するとともに限りある資源を有効活用する。

◇事業の概要

○家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。
 対象区域: 中区、西区、北区
 ○家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。
 対象区域: 天竜区を除く区域

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	86,688	86,675	89,323
	決算	86,687	86,675	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	86,687	86,675	89,323
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		980	1,800	1,800
人工	正規	0.1		
	再任用(h31)		0.5	0.5
	再任用(h26)			
	非常勤	0.1		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

対象区域: 中区、西区、北区

○家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

対象区域: 天竜区を除く区域

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・改善、見直しの余地なし。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・改善、見直しの余地なし。

政策シート

(政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 浜北環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	238,160	248,930	314,010
決算	236,407	245,376	
人件費(A)	187,840	207,340	206,640
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	424,247	452,716	520,650

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民1人1日あたりの排出	g	465	目標	482	480	480
			実績	484.5	498	
区内におけるリサイクル率(%)【集団回収・緑のリサイクル・小型家電を除く資源ごみの量/ごみの排出量】	%	20	目標	10	11	11
			実績	7.4	5	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 遅れている

ごみ減量の推進については、1人1日あたりのごみ排出量の目標値の96.4%であり、前年度を下回った。
また、資源循環型社会の形成に向けてのリサイクルの推進の取り組みについても、目標値の45%程度と低く、引き続き啓発活動を進め目標達成を目指す。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業					410,646	269,866	20.0		0.3	
2	資源物処理事業					84,894	43,434	4.1	2.0	0.2	1.8
3	浜北環境事業所運営経費 (一般諸経費のみ)					25,110	710	3.3		0.5	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						520,650	314,010	27.4	2.0	1.0	1.8

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

清潔な生活環境の保全を図るため、浜北区の家庭から排出されるごみを適正に収集運搬する。

◇事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和49年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	193,943	204,626	269,866
	決算	192,525	201,350	
	国・県支出			
	市債			
	その他		347	300
	一般財源	192,525	201,003	269,566
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		115,580	143,580	140,780
人工	正規	16.4	20.4	20.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.3	0.3	0.3
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民1人1日あたりの排出量(g)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	482	480	480		473	465
実績値	484.5	498.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導

・事業の成果と課題

指標の達成度

浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの1人1日あたりのごみ排出量は目標値の96.4%であり、概ね計画通り実施することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度からのごみ収集事業の委託にあたり、労務単価・収集車両の適正数などの見直しを実施。債務負担行為を設定し、平成29年度から4年間の一般競争入札を行い受託業者を決定した。

自己搬入者への受付対応については、シルバー人材センターへの委託を実施

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

祝日における連絡ごみ収集事業については、費用対効果の観点から実施方法若しくは実施するかどうかを含めた検討を行なった。その結果、平成30年2月から祝日における連絡ごみの収集事業は、自己搬入を除いて行なわない。自己搬入者の受付対応については、さらに委託内容の精査見直しを行ない委託化を進める方向で検討する。

事業シート (事業名) 資源物処理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ減量と資源の有効利用の観点から、市民が活発に事業参加することにより、市民協働による資源循環型社会の形成を目指す。

◇事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・資源物の選別、圧縮・減容処理
- ・資源物の再商品化を図る
- ・資源物収集運搬処理委託業者への適切な指導
- ・市民への資源ごみについての啓発

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成9年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	43,499	43,434	43,434
	決算	43,384	43,432	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	43,384	43,432	43,434
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		53,460	41,460	41,460
人工	正規	3.7	3.7	4.1
	再任用(h31)	3.0	2.0	2.0
	再任用(h26)	0.2	0.2	0.2
	非常勤	5.8	2.8	1.8

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
区内におけるリサイクル率((%)【集団回収・緑のリサイクル・小型家電を除く資源ごみの量/ごみの排出量】)				-		—
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10%	11	11		0	20%
実績値	7.4	4.96				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・資源物の選別、圧縮・減容処理
- ・資源物の再商品化を図る
- ・資源物収集運搬処理委託業者への適切な指導
- ・市民への資源ごみについての啓発

・事業の成果と課題

指標の達成度

前年度達成率74%であったが、今年度は、目標値の45%と低下している。資源ごみとするか、燃えるごみ若しくは燃えないごみとして排出するかは、市民一人ひとりの意識による。この点について引き続き3Rの説明会を通して啓発を行う。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

南清掃工場の減容施設の解体により受託業者の担当区域の見直しを行なった結果、東区・南区分のペットボトルの中間処理については浜北区内の処理業者で行なうこととした。また、自己搬入ごみの受付業務のシルバー人材センターへの委託化を実施

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

自己搬入ごみの委託の内容を見直し、委託化を進める。これにより職員の削減を図る。

事業シート (事業名) 浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	718	870	710
	決算	498	594	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	498	594	710
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		18,800	22,300	24,400
人工	正規	2.5	3.0	3.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.5	0.5	0.5
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 天竜環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	318,236	319,250	311,642
決算	314,624	315,639	
人件費(A)	91,800	134,800	144,300
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	406,424	450,439	455,942

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
天竜区内の家庭系可燃一般廃棄物の区民1人1日あたりの排出量	g	439	目標	447	447	446
			実績	483	472	
天竜ごみ処理工場焼却休止に伴う閉鎖業務	%	-	目標	100	-	-
			実績	100	-	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底するように指導できた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業					424,565	293,585	15.7	4.3		2.0
2	資源物処理事業					22,434	15,434	1.0			
3	天竜環境事業所運営経費 (一般諸経費のみ)					8,943	2,623	0.8	0.2		
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						455,942	311,642	17.5	4.5		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全・衛生的に収集運搬する。

◇事業の概要

- ・天竜区の家庭から排出されるごみを、安全衛生的に収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。
- ・ごみ集積所の適正管理を行う。
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和45年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	302,794	301,200	293,585
	決算	299,182	298,106	
	国・県支出			
	市債			
	その他		1,576	1,488
	一般財源	299,182	296,530	292,097
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		56,800	119,700	130,980
人工	正規	6.0	14.1	15.7
	再任用(h31)	1.0	3.5	4.3
	再任用(h26)			
	非常勤	4.0	3.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
天竜区内の家庭系一般廃棄物の可燃ごみ1人1日あたりの排出量(g)				-		—
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	447	447	446	445	444	439
実績値	483	472				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・天竜区の家庭から排出されるごみを、安全衛生的に収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。
- ・ごみ集積所の適正管理を行う。
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

一時的な増加要因を除くとほぼ目標値に近づいており、昨年度の実績値から大きく減少することとなった。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

平成29年度から平成32年度の新たな収集委託の契約を締結することができ、入札効果もあり委託経費の削減が図られた。また、直営業務においては現場職員の不補充と新清掃工場施設整備を控え、収集体制の分散を含めた見直しを進めている。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

新清掃工場施設整備後の収集体制見直しまでは、現状においてより効率的な収集体制を検討する。

事業シート (事業名) 資源物処理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ減量と資源の有効利用の観点から、市民と協働による資源循環型社会の形成を目指す。

◇事業の概要

- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を選別、圧縮、減容処理する。
- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を再商品化する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	15,442	15,425	15,434
	決算	15,442	15,425	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	15,442	15,425	15,434
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		35,000	8,780	7,000
人工	正規	5.0	1.1	1.0
	再任用(h31)		0.3	
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
資源物の再商品化率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2.4	3	3	3	3	3
実績値	3	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を選別、圧縮、減容処理する。
- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を再商品化する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

区内のプラスチック容器包装・ペットボトルの収集量が減らないように啓発活動を行い、再商品化率を維持することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

環境美化推進員研修会や出前講座においてごみの減量や資源化への取り組み効果の周知を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度に引き続きごみ減量の呼びかけと資源化のための分別指導を徹底する。

事業シート (事業名) 天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

天竜環境事業所の業務を円滑に運営していく。

◇事業の概要

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。
- ・事業所内の計量施設等の維持管理。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算		2,625	2,623
	決算		2,108	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源		2,108	2,623
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)			6,320	6,320
人工	正規		0.8	0.8
	再任用(h31)		0.2	0.2
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。
- ・事業所内の計量施設等の維持管理。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工